

平成26年12月17日

保護者様

北区立王子桜中学校
校長 富張 雄彦

インフルエンザの予防対策について

平素から、保護者の皆様にはお子様の健康管理にご配慮いただきありがとうございます。

本校のインフルエンザに関する状況ですが、11月下旬より患者の発生が散発していましたが、そんな中、先週末から今週にかけて、1年生の1クラスにインフルエンザの感染拡大が発生しました。そこで、該当クラスについて、学級閉鎖と時差登下校の措置をとったところです。

保護者の皆様、生徒にはご心配をおかけしていますが、今後の本校内での感染拡大を阻止するためにも、校内外でさらなる感染予防が大切になってきます。

改めて、インフルエンザの予防及び発生時の注意をお知らせします。

学校におきましても、手洗いの励行、教室の換気などに注意して予防をはかっています。ご家庭におきましても今後さらに下記の事項にご注意の上、お子様がより健康で過ごせるよう、ご協力をお願い申し上げます。

記

1. インフルエンザは飛沫感染しますので、病原体は口腔及び鼻腔から体内に侵入します。帰宅後の**石けんを使った手洗い**を徹底させてください。また、予防の観点からはマスクの着用が有効です。
2. 睡眠不足や過労になり、体力が弱まると感染しやすくなります。夜更かしをしないなど、**規則正しい生活**ができるようお声かけください。
3. 偏食せず、栄養バランスよく食べるように、お話してください。
4. インフルエンザにかかった、またはかかった疑いのあるときは、早期に休ませ必ず**医師の診断**を受けてください。また、**休養**を十分にとらせてください。発熱など体調不良があるときには、無理に登校をさせず医師の診断を受けていただくようお願いいたします。
(インフルエンザと診断された場合は出席停止の扱いとなります。すぐに担任にお知らせください。)
5. インフルエンザ流行時には、人混みや混雑する場所への外出は控えさせてください。
6. 「**咳エチケット**」による感染拡大防止が呼びかけられています。
 - ・「咳・くしゃみの症状があるときは、マスクをする」
 - ・「咳・くしゃみをするときは、口と鼻をティッシュでおおう」
 - ・「咳・くしゃみをするときは、周りの人から顔をそむける」ことにご協力をお願いします。
<裏面に、東京都健康安全研究センターのパンフレットを載せます。>

咳エチケット

せき・くしゃみをカバー

インフルエンザ、百日咳などの呼吸器感染症は、かかった人のせきやくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルス・細菌を吸い込むことによって感染します(飛まつ感染)。

感染症を予防するため、病気の有無に関わらず、普段からせき・くしゃみが直接人にかからないようにカバーしましょう。



その1 口と鼻をカバー

せき・くしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻をおおいます。使用したティッシュにはウイルスなど病原体が多く付着しているため、すぐゴミ箱に捨てましょう。



その2 マスクをする

せき・くしゃみが続くときはマスクをしましょう。



その3 とっさの時は袖などでカバー

とっさのせき・くしゃみは手ではなく、袖や上着の内側でおおいます。手でおおった時は、手に付着したウイルスなど、病原体を他に広げないように手を洗いましょう。



その4 手を洗う

手洗いがもっとも大切です。アルコールを含んだ消毒液を手にすりこむのも有効です。